

法人名	社会福祉法人 恵春会	代表者	小林 佳之
事業所名	くまのしょう	管理者	米村 ゆかり

法人・事業者の 特徴	<p>あたたかく、やさしい介護。必要なときに、必要な介護。</p> <p>みんなが集まる施設づくり。考えて行動できる職員を育てる を目標とし、</p> <p>個人の思いに寄り添い、利用者さんと職員が和み、自然と笑顔になる環境を目指し介護に取り組んでいます。</p>
---------------	--

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・団体	利用者	利用者家族	包括センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			3			1				4

項 目		前回の改善計画	改善に対する取組み	意見	今回の改善計画
A	事業所自己評価の確認	家族との関わりを多く持つ（送迎時の声かけ）本人さんとゆっくりと話す時間を作り、思いを聞き出す	連絡ノートに様子を記載し、その反応を対面で聞く。		新規利用者には担当職員をつけ、その職員が関わる時間を持つ。利用前にアセスメントシートを確認し、課題をミーティングで共有しておく
B	事業所の しつらえ・環境	コロナ禍のため面会制限継続中 換気や消毒を確実に実施 利用者 と協力し、庭作りや季節の花や野菜を栽培する	換気は1日数回実施 介護器具や日用品も 毎日消毒実施 庭に花を植える	クラスター発生の反省を活かす	感染症対策の継続 予防策を継続して行う
C	事業所と地域のかかわり	近くの保育園や小学校の行事に参加や協力することから始める。 地域行事には利用者さんとともに参加し、地域住民の方と話ができる関係性を作る。近くに外出の際は徒歩や自転車とし、近隣者と挨拶を交わす	コロナ禍のため各行事に制限がある。限庄 小学校の認知症サポ ーター研修に参加できた。外出の時は周囲に明るく挨拶をする	感染対策を図りながら交流を行う	地域行事に職員・利用者と共に参加する 運営推進会議や事業所連絡会議に介護職員も参加し、地域住民との関係を構築する。 週1回の施設周囲のゴミ拾いを再開する

D	地域へ出向いて本人の暮らしを支える仕組み	利用者さんの生活歴を知る事から始め、近隣者や友人にも見守りの支援の依頼を行う。 職員が地域住民と顔みしりになり、住民の方が相談しやすい関係を作る	本人や家族からの生活歴や暮らしぶりを聞き取る。		在宅での生活様式を聞き取り、介護に取り入れる。環境の変化を最小限にする。
E	運営推進会議を活かした取り組み	職員一人ひとりが施設の課題や地域の課題を考えるようになる	毎回介護職員も会議に参加し意見を述べる		職員の疑問や思いをミーティングで協議 地域の意見を聞き、介護に取り入れる仕組みを作る
F	事業所の防災 ・災害対策	法人の事業継続計画及び施設の事業継続計画を作成し職員が理解する	事業継続計画及び施設の事業継続計画を作成ができていない		事業継続計画及び施設の事業継続計画を作成し職員が理解する